

救急医療の実情について

救急部 名取穰治部長

県央地域の地域医療支援病院として年間およそ2万件の救急患者を受け入れている海老名総合病院の名取救急部部長に同院の救急の現状について聞いた。

—救急部の現状は—

当院の救急体制はいわゆるER型で、日勤帯は救急



名取部長 (右) 小林医長 (左)

部の小林医師を中心に疾患別に対応しておりますが循環器、脳神経、小児、婦人科などの特に専門性を有する患者さんにはそれぞれ独立した当番医が対応しています。また夜間は、内科系、外科系の当直医と専門性を持った医師が対応しておりますが、時間帯によっては専門性を求めてくる患者さんに対して十分な対応ができておりません。それぞれの地域の病院の問題点ですが、救急という現場を理解頂くとともに、救急をもう一度考え、育てて頂きたい

と思っております。

—救急は赤字と聞きます

救急は赤字部門の一つです。県央地域の2次救急は破綻しかけておりますし、これは県全域でも問題の一つとして考えられております。しかしこの地域の救急をそのまま見過ごすわけにはいきません。近隣の2次担当病院や医院と連携を組み、限られた医療資源の中で何とか体制を作っていくつもりでおりますのでご協力をお願いいたします。次回は総合内科の田所医長です。

M JAPAN MEDICAL ALLIANCE
社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス

海老名総合病院

コールセンター(予約専用)

☎046(234)6529 www.jinai.jp/

海老名市河原口1320

平日 8:30~17:00 / 土 8:30~12:00



海老名駅から

無料シャトルバス運行

海老名駅西口出て右側に停留所あります